

豊田景気実感調査



Viewing over Our Toyota's Economic Condition

第14号

発行日 2018.6.6

平成30年5月調査結果 “豊田の景気実感 ほふく前進が続く” ※ほふく=腹這い

	現状判断D I				先行き判断D I				水準判断D I			
	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合
豊田	48.1	51.0	53.1	49.5	47.4	48.3	53.1	48.1	44.9	56.4	68.8	50.8
全国	47.7	51.2	53.1	49.0	49.4	50.3	54.5	50.1	45.1	52.5	58.9	48.1
東海	52.0	—	—	48.9	51.2	—	—	49.2	49.2	—	—	52.0

※全国、東海は内閣府4月調査 【天気図の見方】 D I値 大きな晴れ：60点以上 / 晴れ：50~60点未満 / 曇：40~50点未満 / 雨：40点未満

【調査結果 総括】

- ・今回調査では、現状判断D I（総合）は49.5に止まり、中立評価の50.0を超えるまでには至りませんでした。半年前（前回11月調査 49.0）に比べても、0.5ポイントの微改善でした。雇用関連と家計関連は改善したものの、企業関連が悪化したため、差し引きで“ほふく前進”程度に止まりました。この背景について、景気モニターの方々に何うと、「仕事量が多いが人手不足、単価低迷が悩み」（設計事務所経営者）、「物価上昇、特にガソリン価格の上昇が心配」（輸送用機械従業員）、「大型店との規模の差を痛感」（小売経営者）といった声が聞かれます。「来店客数の減少」「競争」「人手不足」「（需要要因ではないコストアップによる）物価上昇」の4つのワードが多く聞かれ、景況感の好転の大きな足枷要因とも窺えます。
 - ・また先行き判断D I（総合）も48.1で、前回の50.6から一歩後退しました。一進一退です。業種的にも、雇用関連が前回比改善しましたが、企業関連、家計関連とも悪化です。先行き判断D I（総合）は全国（4月調査 50.1）と比べても弱い動き（全国・晴れ、豊田・曇り）で、豊田では、人手不足やそれを背景とした人件費アップ、ガソリン価格上昇などの影響に対する懸念がそれだけ強いことを窺わせます。また、住宅に関しても、半年前に比べ落ち込みが大きく、現状判断、先行き判断は全国を上回る低下あるいはそれ並みの低下となりました。
 - ・以上のフローの動きに対し、水準判断D I（総合）は50.8で、前回（52.4）比低下しましたが、引続き50台を維持しています。雇用関連（68.8）、非製造業（63.9）、サービス業（54.3）、製造業（53.7）が下支えです。この結果、総合では全国（48.1）を引続き上回っています。
 - ・このように今回調査では、半年前に比べ人手不足の“光”（雇用関連業種での景気実感の改善）とそれ以外の業種における“陰”（人件費アップによる判断悪化）とが少し目立ちます。対策を放置した場合の景気実感の落ち込みが懸念されます。
- 【特別調査1】豊田市駅前の「K i T A R A」のオープン半年経過後の利用状況を景気モニターの方々に伺いました。街区開発完成途次ということもあり、穏やかなスタートとなっています。街の活性化策の後続が待たれます。
- 【特別調査2】SNSや電子マネーの利用状況を同様にお伺いしました。利用実績はSNSで74.2%、電子マネーで41.6%となっています。豊田地域でも、普及テンポが加速している状況が窺えます。

1. 調査期間：平成30年5月1日～25日
2. 調査客体：300名（家計/企業/雇用等） うち有効回答：264名 / 有効回答率：88.0%
3. 調査項目：
 - ・ 2～3ヶ月前から現在までの景気の変化をどう感じますか？ ⇒ 現状判断D I
 - ・ 現在から2～3ヶ月後までの景気の推移をどう予想しますか？ ⇒ 先行き判断D I
 - ・ 現在の景気的水準をどう判断されますか？ ⇒ 水準判断D I
4. D I算出方法：

<問い合わせ先>	
	豊田商工会議所：伊藤 0565-32-4594
	豊田信用金庫：高橋 0565-36-1384

評価段階	5	4	3	2	1
現状判断	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
先行き判断	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
水準判断	良い	やや良い	どちらでも	やや悪い	悪い
付与点数	1	0.75	0.5	0.25	0

各判断項目毎に、評価段階別の回答者数構成比（100%比）を出し、その構成比に上記の付与点数を掛け、合計します。それがD I値です。

本調査は、豊田市に居住または勤務されている個人の方で、家計、企業、雇用の動向を敏感にキャッチ出来る方を対象に、身の周りの景気の実感を聞く調査です。内閣府の「景気ウォッチャー調査」（こちらは毎月実施）に準じて、豊田商工会議所と豊田信用金庫とが協働し半年に1回（5月／11月）実施しています。また、家計は小売、飲食、サービス、住宅、企業は製造、非製造業から成ります。なお、本調査では別に特別調査を実施しています。

<調査にご協力頂いた皆さまに心よりお礼申し上げます。>

総括

総合DI (豊田)



○前回比

- ・総合：曇りが若干薄くなる
- ・家計：曇りが薄くなる
- ・企業：晴れが弱まる
- ・雇用：晴れが強まる

○全国比 (総合は豊田優位)

- ・総合：豊田がやや優位
- ・家計：〃
- ・企業：全国がやや優位
- ・雇用：豊田と全国同値

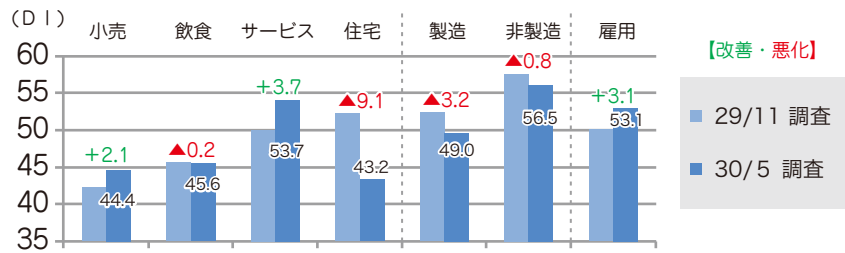
前回比

全国比

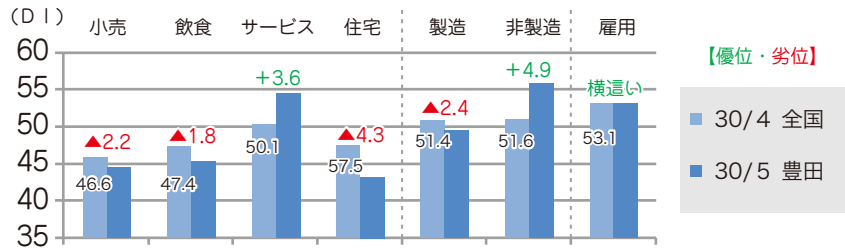
現状判断

業種別内訳

家計はサービス、小売が改善、住宅が大幅に悪化。企業は製造が伸悩み



優位性には家計でサービス、企業で非製造が貢献。雇用は全国並みに改善



先行き判断

総合DI (豊田)



○前回比

- ・総合：晴れから曇りに
- ・家計：曇りが濃くなる
- ・企業：晴れから曇りに
- ・雇用：晴れが強まる

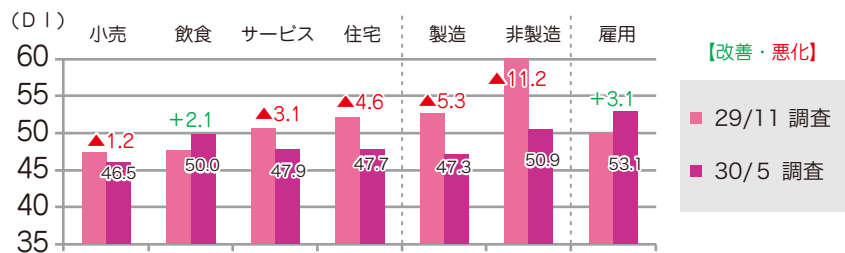
○全国比 (豊田優位の剥落)

- ・総合：全国が優位
- ・家計：〃
- ・企業：〃
- ・雇用：〃

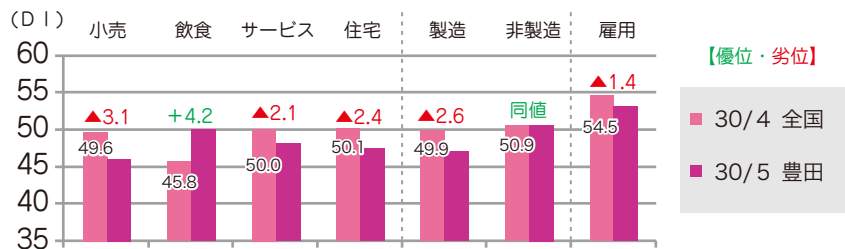
前回比

全国比

家計は総じて前回比判断が後退。企業も特に非製造で後退が目立つ



全国では総合、企業、雇用が晴れに対し、豊田は雇用のみ晴れ



水準判断

総合DI (豊田)



○前回比

- ・総合：晴れが弱まる
- ・家計：曇りが濃くなる
- ・企業：ほぼ横ばい、晴れ
- ・雇用：晴れが大きく強まる

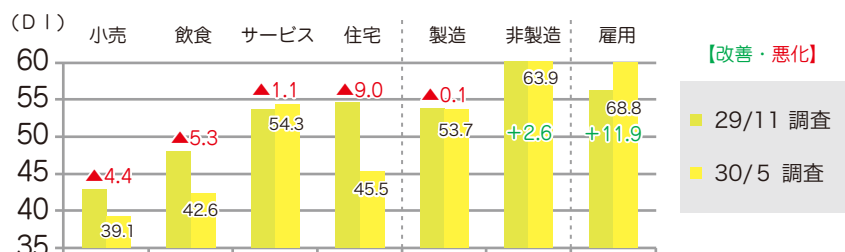
○全国比 (総合は豊田優位)

- ・総合：豊田晴れ、優位維持
- ・家計：全国がやや優位
- ・企業：豊田が優位
- ・雇用：〃

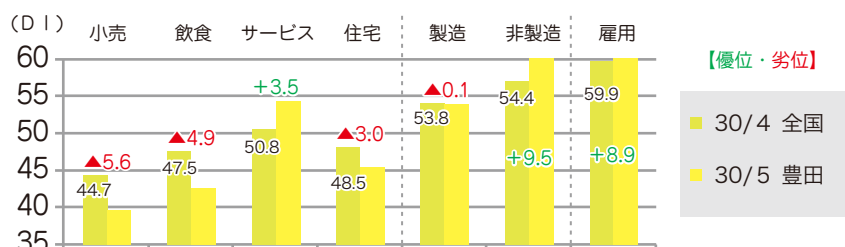
前回比

全国比

企業、雇用とも晴れで、家計のみ曇り。家計では住宅が大幅に判断後退



企業が優位性拡大、雇用で優位性を回復。家計は全国比劣位に低下

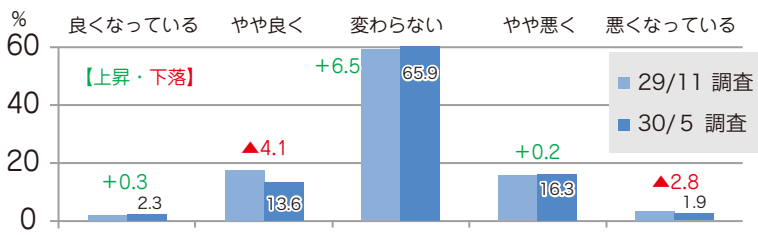


評価段階別内訳

景気モニター一生の声

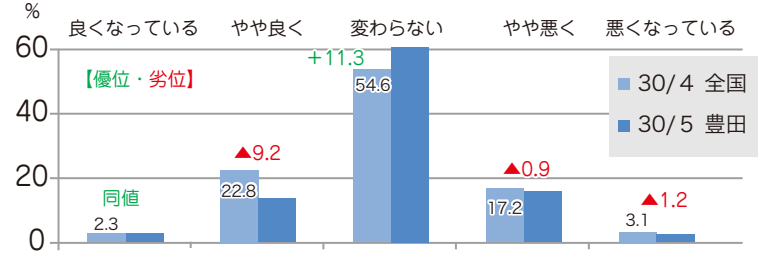
前回比

“やや良くなっている”が減り、“変わらない”が増えた



全国比

全国に比べ“やや良くなっている”から“変わらない”に判断が集中



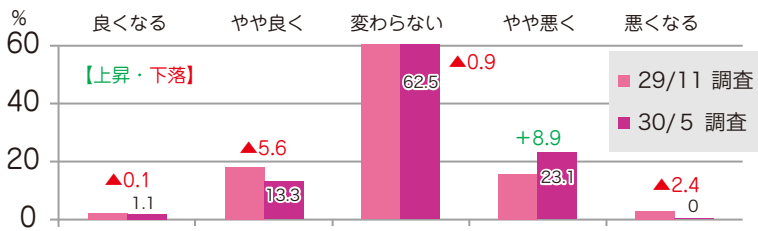
< + : 回復感あり - : 回復感なし >

※家計動向=家、企業動向=企、雇用関連=雇、と略

- + : 観光に関する問い合わせが増えている。(家/サービス・観光関連従業員)
- + : 販売促進や求人に関する受注が増加傾向にある。(企/非製造・通信会社社員)
- + : 高額商品(保険外診療)が増加している。(家/サービス・歯科医)
- + : 戸建て購入傾向が強い。(企/非製造・金融業従業員)
- + : 出張ビジネスマンの動向や企業宴会など宿泊を含む外食産業の動向が良好傾向。(家/サービス・都市型ホテル従業員)
- + : 製造業をはじめ建設、介護、運輸等ほぼ全部の分野で求人が増えている。(雇・職業安定所職員)
- : 週末の客数減少が目立つ。(家/小売・コンビニ経営者)
- : 高齢化により来店が減っている。(家/小売・家電販売従業員)
- : 数年前ほどの忙しさを感じないという意見を同業者間でよく話している。(家/飲食・レストラン経営者)
- : 自動車のブレーキ形態の変更により作成部品数が減少している。(企/製造・金属製品経営者)
- : 求人困難、人手不足感が非常に強い。(雇・職業安定所職員)

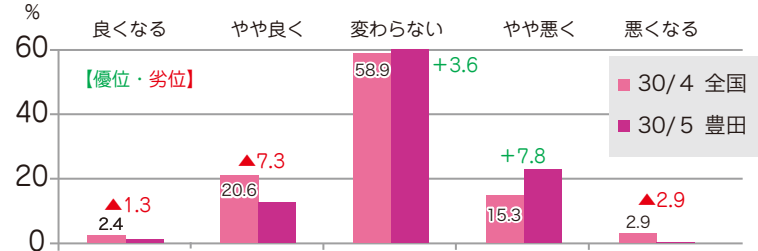
前回比

“変わらない”が過半を占める中、“やや悪くなる”が増加



全国比

全国に比べ“変わらない”“やや悪くなる”の判断が増えた



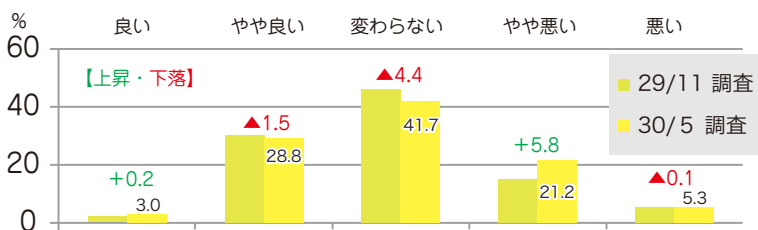
< + : 回復感あり - : 回復感なし >

※家計動向=家、企業動向=企、雇用関連=雇、と略

- + : ラグビー等のイベントが増える。(家/小売・小売店経営者)
- + : トヨタ自動車の業績、地場の安定。(家/小売・住関連経営者)
- + : 来客状況、利用金額とも好調。(家/サービス・ゴルフ場従業員)
- + : 年内の受注計画より判断。(企/製造・輸送業経営者)
- + : 市内の区画整理計画や開発計画から判断。(企/非製造・司法書士)
- + : 来所される求人者の方々が共通して受注増のために人材が欲しいと言われる。(雇・職業安定所職員)
- : 物価上昇、年金等への不安から、財布の紐が固い傾向は続くと思われる。(家/小売・商店街代表者)
- : 商圏人口の減少は致し方ないが、週末の来客数減はとて厳しく先行きは不安である。(家/小売・コンビニ経営者)
- : 為替レートが円高に振れると思われ、また原材料価格も高騰が予想される為。(企/製造・輸送用機械従業員)
- : 人手不足感から人件費の上昇が見込まれ、企業の利益を圧迫する可能性がある。(雇・学校就業担当者)

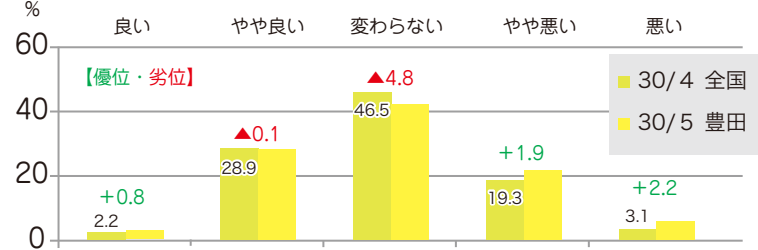
前回比

“変わらない”から、“やや悪い”との見方へ下方に遷移



全国比

全国に比べ“変わらない”から“やや悪い”“悪い”に判断が傾いた



自由回答：景気モニターからの貴重な声

- ・名古屋に電車一本で速く行けるようになることを期待。豊田がもっともっと活気のある街(教育や観光や農業や文化)になるといいなと思います。
- ・豊田市の歴史上、今が一番恵まれていると思っている。今のうちに自分たちで出来る対策は準備します。
- ・豊田市でラグビーワールドカップが開催される際の地元への経済効果創出。長く滞在いただき、お金を使っただけで仕掛け、工夫が必要。
- ・販売価格の値崩れ、値下げ競争が多すぎる。適正価格が不透明になってしまっている。
- ・深刻な人手不足から人件費が高騰し、小売業はとて厳しい状況です。
- ・業種によっては人手不足感が強いものの、労働環境が悪く(運送、介護等)、思うように人材が集まらない。高齢者の活用や女性のパート(扶養内)就労を後押しできれば。生活には困っていないが将来の年金受給に不安がある方が多いと感じています。
- ・新築ラッシュの一方で空き家が増加。大丈夫か。

～貴重なご意見、ありがとうございました。～

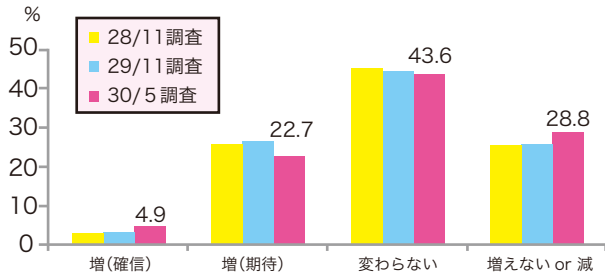
【特別調査】

所得見通し※・消費意欲の調査

※平成24年から調査を継続しています。

今後、所得は増えていくと思いますか？

所得増確信・期待者の割合 27.6% (前回 29.5%)

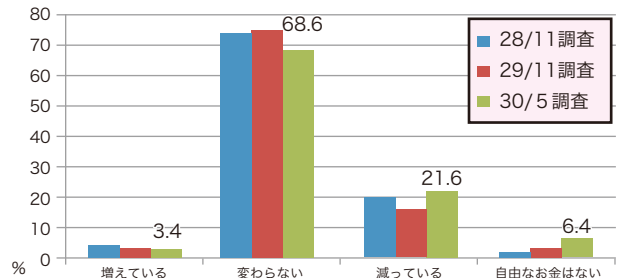


所得増への見通しは後退

前回に比べ「所得増を確信」は1.8%増加しましたが、「期待する」が3.7%減少しました。一方で「増えないあるいは減る」が3.2%増加しており、全体として所得増への見通しは後退しています。

自由に使えるお金【小遣い等】は増えましたか？

“減っている”割合が増加(前回比+4.3%)



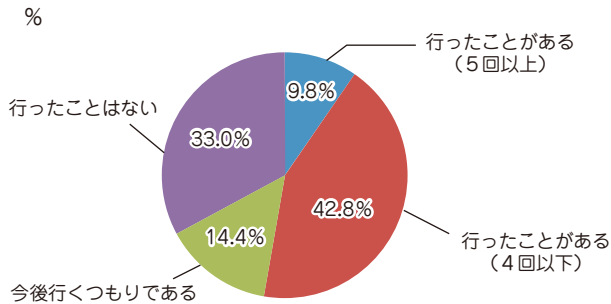
引続き増えない小遣い

「増えている」との割合が引続き低いまま、「変わらない」が6.2%減少の一方で「減っている」が4.3%増加、「ない」も2.1%増加となりました。所得増への見通し同様、所得の余裕度も後退が窺えます。

利用状況調査 景気モニターの方にお伺いしました。

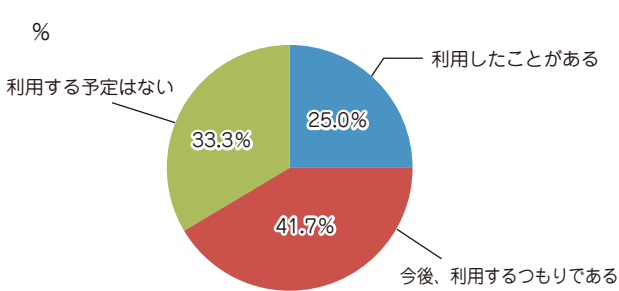
豊田市駅前「KITARA」

利用者は実績 52.6%、利用予定 14.4% !



「KITARA」内映画館(イオンシネマ)

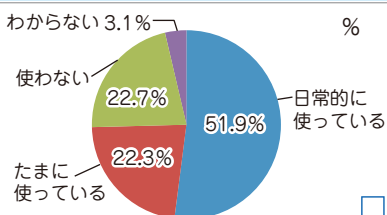
利用者は実績 25.0%、利用予定 41.7% !



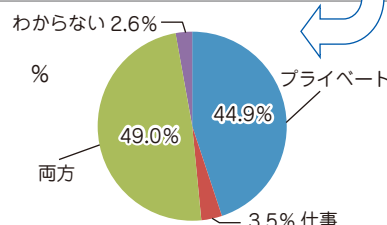
景気モニターの声

- ・KITARAを含む駅前商圏の活性化を強く望みます。
- ・映画館だけでなく、もっと若者に人気の店舗を入れるべきかと思えます。
- ・スターバックスや丸亀製麺、ZARA、GAPなど、全国規模で若い世代の集まるような店舗出店を期待。コンビニが小規模なスーパーなど人の流れができる店舗があってもよい。
- ・映画館の上演案内が新聞になく不便に感じている年配者がいる。
- ・KITARAの豊信さんが17時まで窓口を開けており助かる。

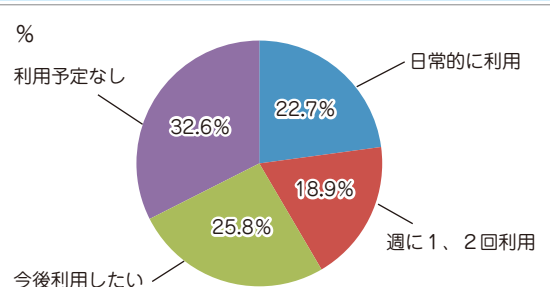
「SNS」(例：LINE、Facebook など)



- ・日常的な利用者は51.9%、たまの利用を含めると、利用者は74.2%に達します。
- ・日常的利用者の利用目的は、仕事とプライベートとの併用が49.0%、プライベートのみ利用が44.9%にほぼ二分されました。一方、仕事のみ利用は僅か3.5%でした。
- ・このようにプライベートのみ、あるいは仕事場でもと利用の輪が広がっています。景気モニターから「SNSを有効活用できる企業が勝つ」との声がありましたが、うなずけます。



「電子マネー」(例：WAON、manaca など)



- ・利用実績は41.6%でしたが、今後の利用希望を含めると67.4%です。
- ・利用者の利用目的は、1位：コンビニ、2位：電車でした。身近なところからキャッシュレスを進めている様子が窺えます。